

第11回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成24年9月19日 15時00分～15時40分

2 場所 教育庁第1会議室

3 出席者

委員	安次嶺 委員（委員長） 中野 委員 新垣 委員 安里 委員 宮城 委員 大城 委員（教育長）	（欠席委員）
	統括監等	教育管理統括監、教育指導統括監、参事
教育庁	課長及び班長等	総務課長、財務課長、施設課長、福利課長、 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課副参事、文化財課長
	職務のため出席した者	（事務局） 総務課総務班班長、同課総務班主任（2名）、同班主事
4 傍聴した者	記者2人 / その他1人	

平成24年第11回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:00）

委員長	ただ今から平成24年第11回県教育委員会会議・定例会を開催します。 はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 次に第10回会議録の承認を行います。安里委員お願いします。
安里委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているとのことですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は、宮城委員にお願いします。
宮城委員	はい。
委員長	次に教育長報告に入ります。報告1について説明をお願いします。
教育長	（教育長報告1の説明） ・東日本大震災に係る教育委員会での被災地域児童生徒の受入状況について
委員長	今年の5月から4ヶ月経ての報告となっております。受入人数については以前程の増え方ではありませんが、微増しているという状況でしょうか。（被災地3県の状況を見ても）この4ヶ月間で8名の子ども達が増えています。今後も、少しずつ沖縄へ移住される方がいらっしゃると思います。 御質疑ございますか。
中野委員	これまでも意見を述べてきたが、被災地域児童生徒の受入については、このような状況が当分続くと考えられる。 数字について教えて頂きたい。2頁目にある高校生21名と、3頁目の25名との違いは何か。
教育長	25名は、被災地3県以外からの転入受入児童生徒数4名を併せた数字になっております。
委員長	被災地からいらした方々は、例えば一時的な避難であれば、しばらくしたら帰られると思いますが、（データを見ると）そうでもないようです。避難された方の中には、数年沖縄に滞在する、又は長期で住まわれる方もいらっしゃるかもしれません。
教育長	マスコミ等では、従来の「避難」という言葉から、「定住」という言葉を使用しつつあります。全国的な傾向として、そのような言い方をしてい

	<p>るようです。いわゆる一時的な避難から、定住への傾向が強くなってきているのだと思います。</p>
委員長	<p>帰るべき故郷がなくなってしまった方々が大勢いらっしゃる。このように沖縄だけでなく、日本各地に避難、定住するということは、福島県や、被災地では徐々に人が減っているという状況なのではないでしょうか。</p> <p>前にも色々と質問があったかと思いますが、学校現場では（避難した）子ども達はしっかりと沖縄に定着しているのでしょうか。</p>
教育長	<p>所管している義務教育課、県立学校教育課より報告いたします。</p>
義務課長	<p>（子ども達において）何か課題がありましたら、市町村の方から報告を受けますが、今のところそのような報告は受けておりません。</p>
県立課長	<p>県立高校では、21名のうち1名が中部の高校に馴染めないということで、泊高校の通信制に編入し、現在は落ち着いているという報告を受けております。また、19名の生徒については概ね良好であるということですが、2人が馴染めていないという報告を受けております。一人は報告後、クラスにも馴染み問題ないとのことですが、もう一人については他にどのような支援が受けられるかという相談もありましたので、学級担任を通じてケアをしている状況でございます。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>（しばし間があり）</p> <p>それでは、報告2について説明をお願いします。</p>
教育長	<p>（教育長報告2の説明）</p> <p>・第36回全国高等学校総合文化祭富山大会等について</p>
委員長	<p>県内の若者が、全国区において多分野で活躍しているという嬉しい報告でございました。</p> <p>御質疑ございますか。</p>
新垣委員	<p>中文連に参加したことがあったが、合唱等も含めて、女生徒の数が圧倒的に多い。今回の生徒数205名のうち、男子生徒の割合はどれほどなのか。また、男子生徒を（文化系の部活動に）加入させるために、どのような取り組みを行っているのか教えて頂きたい。</p>
教育長	<p>文化財課長、数字を把握していますか。確かに、文化系は女生徒が圧倒的に多いですね。</p>
新垣委員	<p>中学生、高校生において、文化系の活動をしている男子生徒は引け目を感じるようなので、どうかして頂きたい。</p>
文化財課長	<p>今回の富山大会の名簿はあるのですが、男女別に集計しておりません。しかし、合唱等でも30名の中に、男子生徒は1名から2名となっており、女子生徒の数が圧倒的に多くなっております。</p> <p>文化系のクラブに属している男女の割合で申し上げますと、生徒数は全</p>

	<p>体で11,456名、うち男子生徒は3,236名、女子生徒が8,220名となっております。</p>
委員長	<p>これは全国でも同じ比率なのでしょうか。</p>
文化財課長	<p>申し訳ありません、全国のデータは把握していないのですが、沖縄に限って申し上げますと、文化系においては女子生徒が多数を占めております。今回、写真部門で全国優勝しましたが、全て女子生徒での受賞となっております。</p>
委員長	<p>写真部門のように連続受賞であったり、色々な学校が上位の成績を収めているということは、指導者のレベルが高いということなのでしょうか。</p> <p>沖縄は一般の写真展のレベルも高いので、学校現場においても優れた指導者がいらっしゃるということだと思います。その指導を受けて、沖縄の子ども達が才能を発揮している、教育によって素晴らしい能力が発揮出来ているということでしょうか。</p>
教育長	<p>(文化財課長へ)今回入賞した写真はありますか。</p> <p>(写真を提示)</p> <p>今回の写真のテーマは「暮らし」であったかと思いますが、本当に感性が豊かです。私が関心したのは、おばあさんの笑顔を一瞬のうちにカメラに収めたコツを聞いたところ、この生徒が言うには「私は沖縄出身です」という話をしながら笑顔を引き出し、その一瞬を撮影したと。</p> <p>また、これはご夫婦の写真ですが大変微笑ましいです。おじいさんのズボンのファスナーが開いていて、それを見たおばあさんが「おじいさん、社会の窓が開いてますよ」という言い方をしながら二人が笑ったところを、ほんの一瞬であったと思いますが、写真に収めております。</p>
宮城委員	<p>県立芸術大学も含め、写真のレベルが非常に高い。やはり指導者の役割は大きい。浦添工業高校、真和志高校においては、写真を専門とする先生がいらっしゃるのので、指導による結果もあると思う。</p> <p>残念だと感じたのは、受賞校の殆どを中南部地区の学校で占めていることである。人数の多い学校は、それだけクラブ活動も充実している気がするが、北部地域のクラブ活動の状況はどのようになっているのか。</p>
県立課長	<p>北部地区は、辺土名高校が科学展等で成果をあげております。</p>
委員長	<p>指導する先生のお考えなど、影響もかなり受けるのではないのでしょうか。沖縄の子ども達が色々な方面で才能を発揮出来るのは承知のとおりですが、学力の面では悲観的なところもあります。しかし、優れた指導者がいれば、多様な才能を持つ子ども達が全国のトップを狙えることは素晴らしいことでもあります。</p>
新垣委員	<p>カメラ、ビデオ、オーディオ等色々な部門があるので、指導者も男子生徒の興味を引くような指導、努力が必要ではないか。</p>

委員長	結局、男子生徒はスポーツへ行ってしまうということなのではないでしょうか。
保体課長	スポーツの場合は、全体数として圧倒的に男子が多くなっております。しかし、代表校においては全種目、男女とも同程度の比率でございます。
文化財課長	文化における参加人数については、先に申し上げましたように全体として1万1千人あまりですが、高校生の総数が5万人となりますので、全体の22%を占めております。先ほどの宮城委員からの質問ですが、(部活動が充実しているか否かについては)学校規模に比例しているかと思いません。北部にあります名護高校においては180名ほど、本部高校でも118名の生徒が文化系クラブへ在籍しております。具体的な分析には至っておりませんが、クラブ活動の充実性は、地域ではなく学校規模の影響が大きいのではないのでしょうか。
委員長	(地域に着目すると)ヤンバルはヤンバルで、少人数ならではの利点もあると思います。 長期的な観点から、今成果を挙げている学校の指導者を様々な学校へ派遣することはないのでしょうか。
文化財課長	南部工業で指導に携わられていた先生が、浦添工業に赴任した話も聞いております。実績を築くことが、高校の伝統をつくり上げることにもなりますので、その和を広げる意味でも、他の学校へ異動ということはあるかと思えます。ちなみに今回の写真甲子園では、本県から真和志高校を始め名護工業など10校が申し込みをしました。写真甲子園は予選がございまして、全国から424校の申し込みがあり、それを各ブロックで区切り一次予選にあたる地区予選を行います。九州ブロックは全国大会への出場枠は2校しかない大変厳しいものとなっておりますが、今回は、浦添工業が九州ブロックを勝ち抜き、全国大会に出場しております。 また、郷土芸能においては、八重山の三校(八重山高校、八重山商工高校、八重山農林高校)は伝統的な実績がございまして、今回は結果が揮いませんでしたが、これまでも県大会、全国大会で優秀な成績を収めております。ですので、地域性も入賞に関係すると言えるかもしれません。
宮城委員	高等学校総合文化祭に、これほど多くの分野があるというのは知らなかった。その中でも上位に入賞しているのは映像部門においては、今の時代を反映していると感じる。現代美術も、今は絵画よりも映像が最新の表現方法として多く採用されているが、やはり高校生においても時代の潮流を受けているのだと感じる。
委員長	そうですね、沖縄は芸能が強いですね。伝統的な芸能はもちろんのこと、新しいミュージック等、沖縄の子ども達は感性が豊かで強い。その点では、今回の芸能文化における結果は、改善の余地があるのかもしれない。

	<p>沖縄の子ども達は元気があり、スポーツ面、アートの面でも優秀な成績を収めております。学力については課題もありますが、生活習慣をきちんとし、様々な文化的活動に真摯に取り組めば、将来良い面に繋がっていくのではないのでしょうか。その意味では大変良い報告でございました。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>それでは、議事に入ります。本日は議案が1件となっています。議案第1号の説明をお願いします。</p>
財務課長	<p>(議案第1号の説明)</p> <p>・教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理の承認について(議案「平成24年度沖縄県一般会計補正予算(第2号)」に対する意見)について</p>
委員長	御質疑ございますか。
中野委員	<p>制度、事業等に異議はないが、希望としては支給額について増額頂きたい。</p> <p>(離島高校生修学支援事業において、対象生徒へ)月に1万円程支給することのだが、希望としては3万円、もしくは倍の2万円程の支給を検討頂きたい。</p>
委員長	これは国の制度(事業)への対応ですが、新聞等では離島児童の教育問題について取上げられているところだと思います。国の事業以外に、沖縄県独自に行っている離島児童への支援制度はあるのでしょうか。
教育長	県の単独事業においてでしょうか。
委員長	<p>そうなります。</p> <p>事業は市町村に任されているのでしょうか。</p>
中野委員	県の支援に関連して、学校給食においては県の補助は特にはないが、国と学校給食会から継続して補助されていると思う。今年も補助はあったか。
保体課長	今年も補助ございました。しかし、僻地校を対象に給食費を助成しているスポーツ振興センターから、今年度で助成を打ち切るとの連絡がありました。
中野委員	今後の見通しとして、補助がなくなった後の支援をどのように継続していくのかを検討頂きたい。
保体課長	はい。私どもとしましては、全国学校給食協議会を通じて要請をしておりますが、対応等検討致します。
中野委員	特に望みたいのは、国から一括交付金を受けているので、国の補助金額が低いのであれば、ぜひ制度を活用頂きたい。
義務課長	義務教育課も基本的には国、県から予算を支出し事業を展開しておりますが、今年度から一括交付金を活用して、離島僻地複式学級改善ですと

	<p>か、学習支援といったような事業計画を進めております。</p> <p>現在、県の単独事業としましては、僻地教育の振興を目的として「僻地教育研究大会」を20年程継続して実施しております。</p>
新垣委員	<p>支給額はどの時点から支給されるのか。また、遡っての支給は可能なのか。</p>
財務課長	<p>当事業は今年度新規事業になるのですが、月額ではなく、年額で15万円としておりますので、年度内に執行できましたら特に支障ございません。</p>
新垣委員	<p>では9月の議会で承認が下りれば、支給出来るということですね。</p>
財務課長	<p>各市町村で執行頂くことになるかと思います。</p>
委員長	<p>確かに、今日の子供達はお金だけではなく、色々な面でサポートが必要なので、宿舎建設も含め様々な立場から子供達に、住民としての支援を考える必要があるのではないのでしょうか。また、当事業については、もう少し支給額を増額した方が良いという意見もありました。</p>
新垣委員	<p>年度当初は何かと必要になるため、4月に支給頂けると大変助かる。</p>
財務課長	<p>その点につきましては、事業主体は市町村になるのですが、県立学校教育課の方でも検討頂きたいと思います。</p>
委員長	<p>当事業は、今年度は補正で予算計上していますが、次年度も継続して実施していくのですね。</p>
財務課長	<p>はい。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>では、このとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>これで、本日の日程はすべて終了しましたので、閉会します。</p>